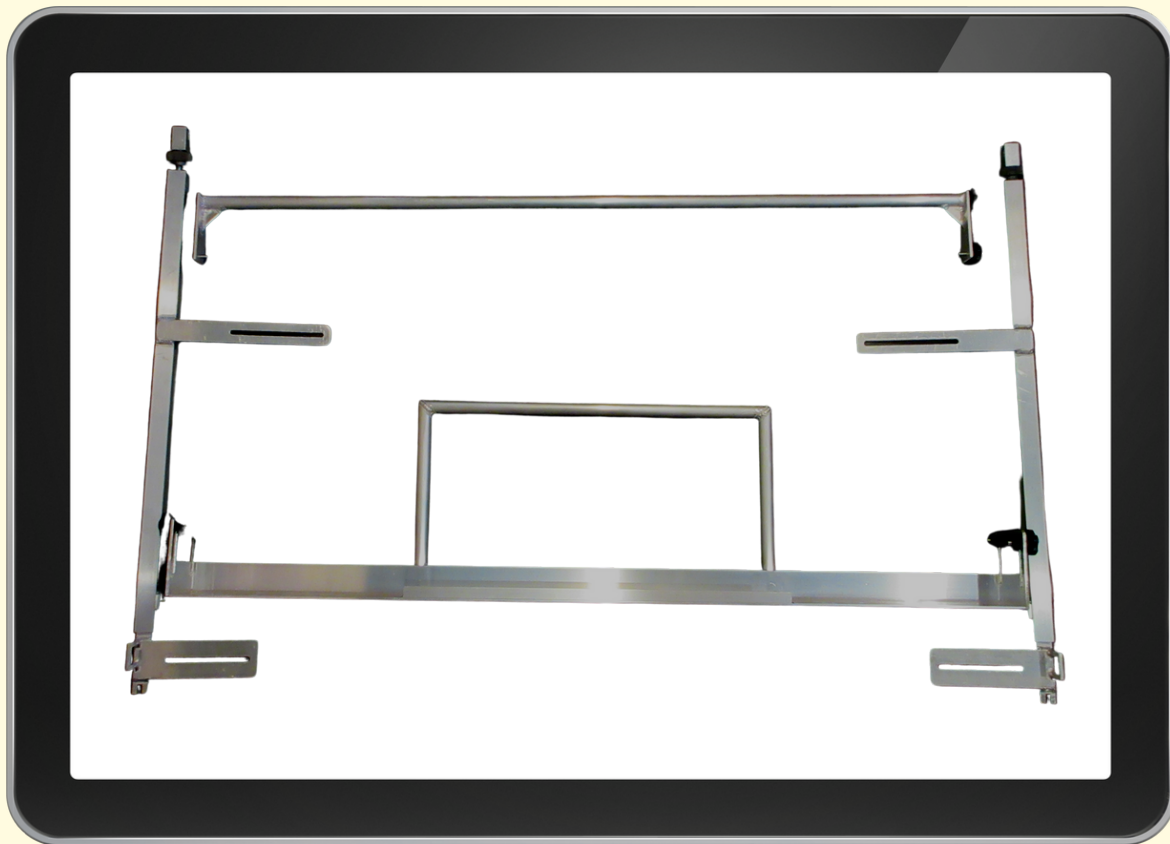


イチオキ23 取扱い説明書



セット内容

お手元に届きましたら部品が揃っていることを確認してください

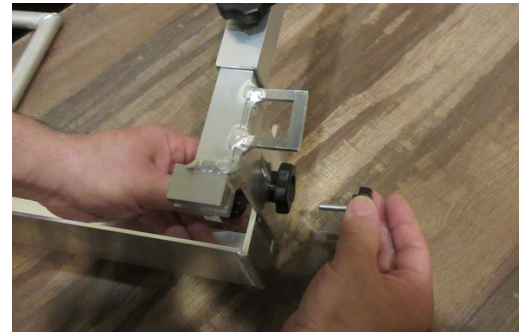
支柱	左右それぞれ1本ずつ	2本
脚	さや管に内包される部分でアルミサッシの下レールに接する	
鞘管	脚部分を覆う鞘部分で手前下部にあるノブボルトを脚部に数ヶ所ある貫通孔のいずれかを選定して支柱のたまかな長さ調整をおこなう	
先ボルト	自在に伸縮するボルトの上部先端の溝をアルミサッシの上レールを挟んで押さえつつボルト下部にある早締めナットで固定する	
障子受け	トレイ	1枚
背面架	バー	1本

組み立て方

1

トレイを左右の支柱で挟んで
左右それぞれの下部にある2組の
ノブボルト及びノブナットで固定する

(トレイが一番高い位置に仮止めする)



2

バーを左右の支柱で挟んで、左右それぞれの
上部にある2組のねじ穴にノブ
ボルトをねじ込み固定する

(バーを仮止めする)



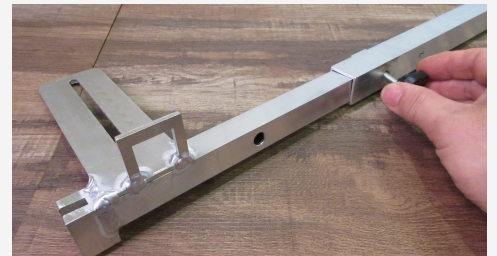
完成



設置方法

1

左右の支柱を、さや管をスライドさせて調整する
アルミサッシの高さより100~200mm短めにして
下部のノブボルトで固定する

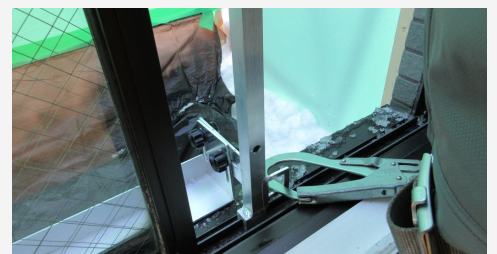


2

アルミサッシの障子の左右を中央付近に寄せる

3

支柱の脚(下部…左右どちらでも可)のリングに
安全帯を掛ける



4

器具をアルミサッシの開口部から持ち出し、支柱の両足をサッシの下レールを挟んで載せる

内/外障子どちらでも良いが左右同一のレールを使用する。

『網戸レールは、絶対に使用しないでください』



5

左右いずれか一方の「先ボルト」部分を上方へまっすぐ垂直に引き出し先端の溝でサッシの上レールを挟んで押さえ、早締めナットで固定する。

「先ボルト」は、250mm以上伸ばさないでください。
⇒ 250mmとなる場合は、①に戻ってさや管の長さを調整しなおしてください



6

もう一方の支柱を同様にして固定する



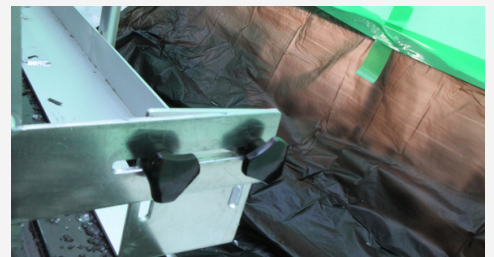
7

器具の支柱の両脚及び両方の先端が
全て同一の窓障子のレールを挟んで固定されているか？
先ボルトは真っ直ぐ垂直に固定されているか？
曲がり・ゆがみはないか？
ガタツキが無いかを確認する

8

「仮止めしているトレイのボルト・ナットを全て緩めサッシ下部の水切り板と密着するまで下げて固定する

アルミサッシが出窓または同面（面一）の場合でトレイを乗せることが出来る水切り板がない場合は外壁とトレイの間に隙間が無いよう設置して下さい。



（外障子をサクシヨンカップ及びワイヤー等で落下防止対策を施してください）

9

背面架（バー）の全てのノブボルトを緩め、障子を立てかける角度を調整して適当な位置でノブボルトを締めて固定する

使用方法

< 障子の外し方 >

01

最初に器具が正しく設置されていることを確認する

02

外障子を外して、障子の下部をトレイに載せ
障子を背面架（バー）に立てかける

立てかける際は衝撃を与えないように注意してください

03

外障子を外したら直ちに内障子を外して屋内に
取り込んでください

04

内障子を取り込んだら直ちに立
てかけてある外障子を屋内に取
り込んでください

外障子を立てかけたまま放置しないでください

< 障子の取り付け方 >

01

最初に器具が正しく設置されていることを確認する

02

屋内にある外障子を持ち出し、障子の下部を器具のトレイに
載せ、障子を背面（バー）に立てかける

立てかける際は、衝撃を与えないように注意してください

03

外障子を立てかけたら直ちに内障子を取り付けてください

04

内障子を取り付けたら直ちに立てかけてある外障子を
サッシに取り付けてください

外障子を立てかけたまま放置しないでください

注 意 事 項

- 1 当器具は、一般的な汎用のアルミサッシで、サイズが幅 1 2 0 0 mm~1 7 5 0 mm、高さ 8 5 0 mm~1 3 8 0 mmの範囲内の引違窓に限る
- 2 当器具の使用（外障子を立て掛けておく時間）は、内障子を着脱する一時（1分間程）に限るものとし、外障子を立てかけたまま放置することは絶対にしないでください
- 3 当器具が使用できるアルミサッシは障子一枚当たりの重量が 3 0 kg以内のものに限る
- 4 器具に体重を掛けない（捕まらない・寄りかからない）衝撃を与えたりしない
- 5 当器具の使用（外障子の立てかけ）は、内障子の着脱に要する僅かな間に限る。（立てかけたまま放置しない。）
- 6 作業場所に係る窓サッシの下方（下の階～地上までの間）の人の通行止め等の安全が確保できない状況での使用はしないでください
- 7 無風または微風状態で使用してください。

当器具（製品）は、金属の加工過程において「細かな擦り傷」が生じておりますが、研磨・塗装等の美装はしておりません。アルミニウム素地のままでの納品になります。ご了承ください。